

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「エマージング・カレンシー・債券ファンド（毎月分配型）」は、2026年5月25日に第239期決算を行いました。

当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行い、長期的に安定的な収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行ってまいりました。

ここに謹んで第234期～第239期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第239期末（2026年5月25日）

基準価額	5,149円
純資産総額	6,432百万円
第234期～第239期	
騰落率	2.5%
分配金（課税前）合計	60円

（注1）騰落率は分配金（課税前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

エマージング・カレンシー・ 債券ファンド （毎月分配型）

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第40作成期

第234期（決算日2025年12月23日） 第237期（決算日2026年3月23日）

第235期（決算日2026年1月23日） 第238期（決算日2026年4月23日）

第236期（決算日2026年2月24日） 第239期（決算日2026年5月25日）

作成対象期間（2025年11月26日～2026年5月25日）

SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木 1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00～17:00

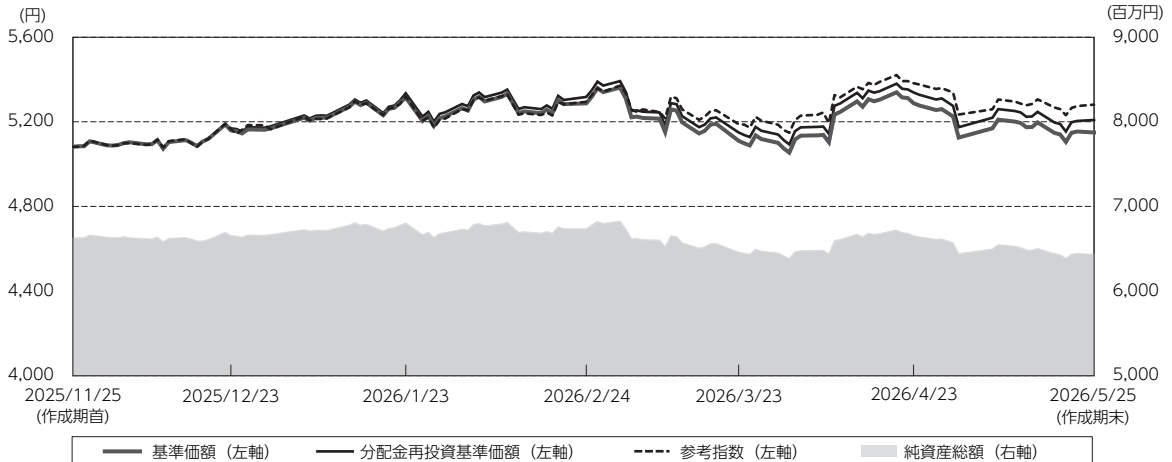
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2025年11月26日～2026年5月25日）



第234期首： 5,082円

第239期末： 5,149円（既払分配金（課税前）：60円）

騰落率： 2.5%（分配金再投資ベース）

- （注1）分配金再投資基準価額は、分配金（課税前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注3）分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2025年11月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものとなります。
- （注4）参考指数についての説明は、最終ページの「当ファンドの参考指数について」をご参照ください。
- （注5）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期における当ファンドの基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<プラス要因>

- ・ 相対的な利回りの高さを背景に、エマージング債券市場が堅調だったこと。
- ・ 為替市場において米ドルが対円で上昇したこと。

<マイナス要因>

- ・ 中東情勢の緊張の高まりから、一時的にエマージング債券および通貨が下落したこと。

1万口当たりの費用明細

（2025年11月26日～2026年5月25日）

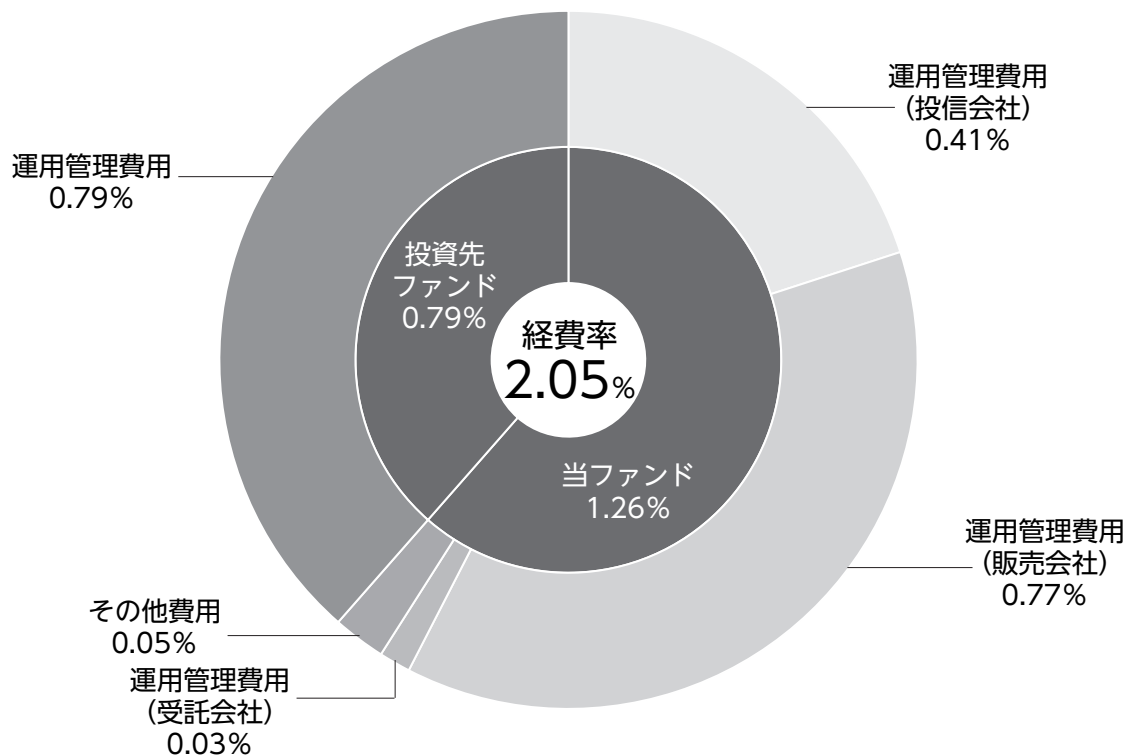
項 目	第234期～第239期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 31	% 0.600	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 10）	（0.202）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 20）	（0.382）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 1）	（0.016）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.023	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	（ 0）	（0.005）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	（ 1）	（0.018）	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	32	0.623	
作成期中の平均基準価額は、5,190円です。			

- （注1）作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注2）消費税は報告日の税率を採用しています。
（注3）項目ごとに円未満は四捨五入しています。
（注4）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。
（注5）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しています。
（注6）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位を四捨五入しています。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）**は2.05%です。



（単位：％）

経費率（①＋②）	2.05
①当ファンドの費用の比率	1.26
②投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.79

（注1）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

（注4）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

（注5）①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

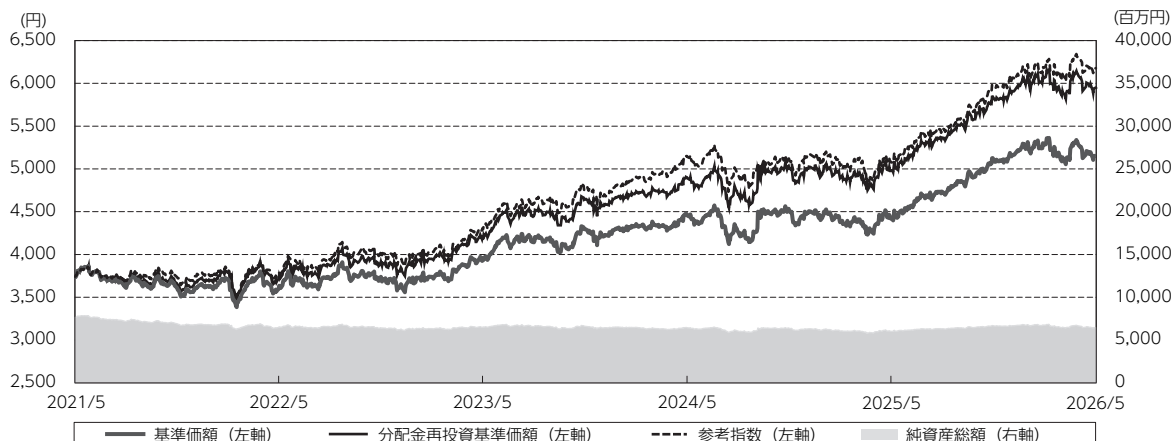
（注6）①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2021年5月24日～2026年5月25日）



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（課税前）を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2021年5月24日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものとなります。

	2021年5月24日 決算日	2022年5月23日 決算日	2023年5月23日 決算日	2024年5月23日 決算日	2025年5月23日 決算日	2026年5月25日 決算日
基準価額 (円)	3,741	3,598	3,937	4,464	4,418	5,149
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△0.6	13.0	16.6	1.7	19.4
参考指数騰落率 (%)	—	0.6	14.4	19.6	△1.3	21.6
純資産総額 (百万円)	7,642	6,454	6,487	6,437	6,016	6,432

- (注1) 参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。参考指数についての説明は最終ページの「当ファンドの参考指数について」をご参照ください。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注3) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。小数第2位を四捨五入して表示しています。

投資環境

（2025年11月26日～2026年5月25日）

<現地通貨建てエマージング債券市場>

当作成期の現地通貨建てエマージング債券市場のインデックス（JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド（米ドル建て・為替ヘッジなし））は上昇し、債券部分および通貨部分ともにプラスのリターンとなりました。

当作成期の現地通貨建てエマージング債券市場は、地政学的イベントがマクロ環境を大きく左右する中でも、債券・通貨ともに上昇しました。2月末の米国とイスラエルによるイランへの攻撃直後は、原油価格が大幅に上昇し、インフレ懸念を背景とした主要国金利の上昇が一時的にリスク回避の動きを招いたものの、根強い投資家のリスク選好姿勢が続く中で、現地通貨建てエマージング債券市場では、トルコや南アフリカなどの相対的に利回りの高い国を中心に上昇幅が大きくなりました。通貨部分では、政治面で前向きな進展があったハンガリーや、ブラジルやメキシコなどの原油輸出国が堅調に推移しました。

<日本短期金融市場>

国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、期初には0.397%近辺の水準で推移していました。当期中に日本銀行が政策金利を0.25%引き上げたことに加え、追加利上げ観測もあって利回りは上昇、期末時点においては0.883%程度となりました。

<為替相場>

当作成期において、為替市場では、前作成期末の2025年11月25日に1米ドル156.87円であったものが、当作成期末の2026年5月25日には158.91円となり、円は対米ドルで2円04銭の円安／米ドル高となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2025年11月26日～2026年5月25日）

<エマージング・カレンシー・債券ファンド（毎月分配型）>

当ファンドは、ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「SIM ブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド クラスL」（以下「投資先ファンド」といいます）投資証券と、主としてわが国の短期公社債および短期金融商品に投資する証券投資信託「SIM ショートターム・マザー・ファンド」受益証券を主要投資対象としています。

当作成期は、基本方針に従い、投資先ファンドの組入比率を高位に保つことによって実質的に現地通貨建てエマージング債券への投資を行うとともに、「SIM ショートターム・マザー・ファンド」受益証券を一部組み入れた運用を行いました。

<SIM ブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド クラスL>

投資先ファンドでは、主に現地通貨建てのエマージング債券に投資を行い、グローバルな視点からのファンダメンタルズ分析・クレジットリスク分析に基づく分散投資を基本とし、アクティブに運用を行いました。

当作成期の投資先ファンドは、インデックスを下回るリターンとなりました。債券部分では南アフリカの債券の投資比率を高くしていたことなどがプラスに寄与する一方、通貨部分では特にエジプトなどの投資比率を高くしていたことがマイナスに寄与しました。

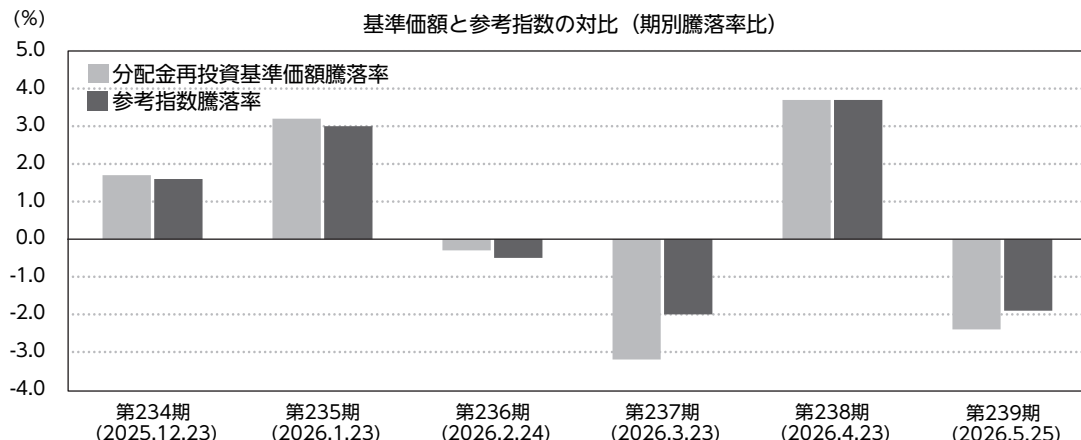
<SIM ショートターム・マザー・ファンド>

SIM ショートターム・マザー・ファンドでは、主として国庫短期証券等を組み入れました。組み入れ期間において国庫短期証券等の利回りがプラスで推移したことから、当期において基準価額は上昇しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年11月26日～2026年5月25日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



（注1） 基準価額の騰落率は分配金（課税前）込みです。

（注2） 参考指数についての説明は、最終ページの「当ファンドの参考指数について」をご参照ください。

分配金

（2025年11月26日～2026年5月25日）

収益分配金につきましては、収益分配方針に基づき、基準価額水準や市場動向等を勘案し、第234期から第239期は各期1万口当たり10円（課税前）、当作成期間合計で1万口当たり60円（課税前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期	第239期
	2025年11月26日～ 2025年12月23日	2025年12月24日～ 2026年1月23日	2026年1月24日～ 2026年2月24日	2026年2月25日～ 2026年3月23日	2026年3月24日～ 2026年4月23日	2026年4月24日～ 2026年5月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.193%	10 0.188%	10 0.189%	10 0.195%	10 0.189%	10 0.194%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,616	1,637	1,649	1,661	1,679	1,690

（注1） 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2） 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税込み）と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<エマージング・カレンシー・債券ファンド（毎月分配型）>

当ファンドでは、引き続き投資先ファンドへの投資を通じてエマージング諸国の債券等に投資し、長期的に安定的な収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

<SIM ブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド クラスⅠ>

現地通貨建てエマージング債券市場では、ホルムズ海峡の再開に向けた合意機運が高まる中で、楽観的なムードに包まれています。一方で、協議が決裂する可能性も排除できないことから、原油供給の混乱が経済成長率やインフレ率にもたらす影響は依然不透明だと考えています。したがって、現時点では、外交的解決への道筋に関してより明確な見通しが得られるまで、原油高の環境で有利な立場にあるコモディティ輸出国、とりわけ中南米諸国への選好を維持する方針です。ファンダメンタルズ分析に基づく選別した投資を行う必要性が高まっていると考えています。

<SIM ショートターム・マザー・ファンド>

日本銀行は、2025年12月に政策金利を0.25%引き上げた後、4月末の金融政策決定会合を含め3会合連続で据え置いています。金融正常化の一環としての政策金利引き上げに向けた地ならしを進めてきましたが、米国イランの軍事衝突を受けて、特に原油価格上昇の国内経済・物価に与える影響、およびその持続性を見極めることを優先していると見られています。一方で、物価の上振れリスクにより重きを置いていることを明確にしており、市場の利上げ期待をつなぎとめる結果となっています。したがって、日本銀行は、足元で海外要因による不確実性を踏まえた慎重姿勢を維持しつつも、基調的な物価動向や賃金の持続的上昇が確認されれば、段階的な利上げ再開に踏み切る可能性があると考えられます。

当ファンドでは、引き続き当初の運用計画に基づき、国庫短期証券等に投資していく予定です。

お知らせ

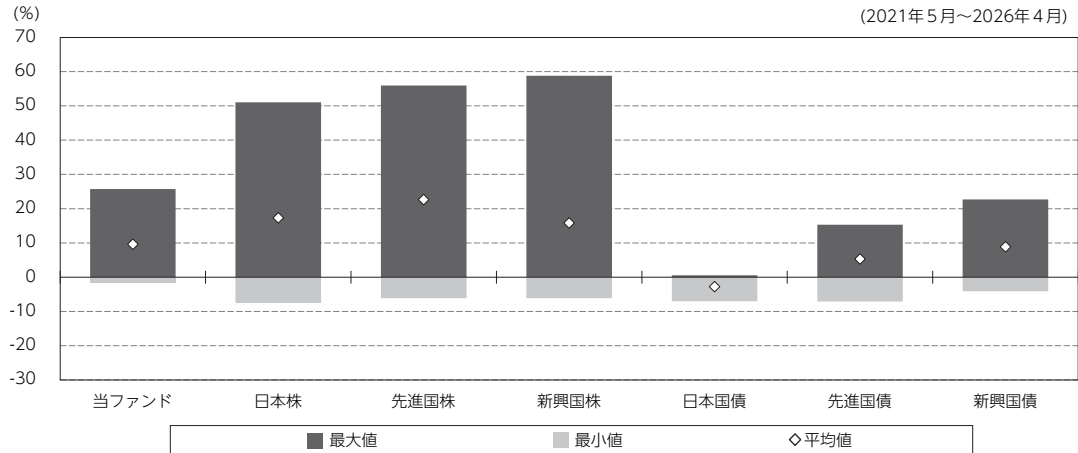
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	原則として無期限です。 クローズド期間はありません。	
運 用 方 針	当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行い、長期的に安定的な収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人 「SIM ブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンドクラス L」投資証券	主として現地通貨建てのエマージング債券に投資します。
	証券投資信託 「SIM ショートターム・マザー・ファンド」 受益証券	主としてわが国の短期公社債および短期金融商品等に投資します。
運 用 方 法	① ルクセンブルグ籍オープン・エンド型の米ドル建て外国投資法人である「SIM ブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド クラス L」投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）及び証券投資信託である「SIM ショートターム・マザー・ファンド」受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）を主な投資対象（以下、「投資対象ファンド」といいます。）とします。投資先ファンドへの投資を通じて、エマージング諸国の債券等に投資し、長期的に安定的な収益の確保と投資信託財産の成長をめざして運用を行います。 ② 投資信託証券への投資は、原則として、高位を維持することを基本とします。 ③ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ④ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。	
分 配 方 針	① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ② 分配対象額は、委託者が決定するものとし、原則として、安定分配を継続的に行うことを目指します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ③ 収益分配に充てずに投資信託財産内に留保した利益（無分配期の利益を含みます。）については、運用の基本方針に基づき運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	25.7	51.0	55.9	58.8	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 1.7	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	9.6	17.3	22.7	15.8	△ 2.8	5.3	8.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
(注2) 2021年5月から2026年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数
先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）
新興国株…Morningstar 新興国株式指数
日本国債…Morningstar 日本国債指数
先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）
新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年5月25日現在)

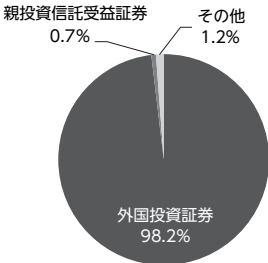
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第239期末
	%
SIM ブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド クラス L	98.2
SIM ショートターム・マザー・ファンド	0.7
組入銘柄数	2 銘柄

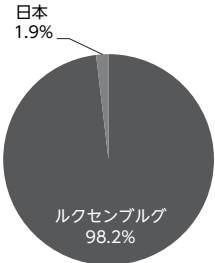
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

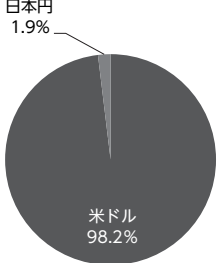
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合があります。

純資産等

項 目	第234期末	第235期末	第236期末	第237期末	第238期末	第239期末
	2025年12月23日	2026年1月23日	2026年2月24日	2026年3月23日	2026年4月23日	2026年5月25日
純 資 産 総 額	6,654,293,614円	6,802,807,281円	6,734,127,253円	6,456,575,364円	6,650,798,517円	6,432,697,532円
受 益 権 総 口 数	12,899,501,475口	12,801,806,218口	12,737,159,681口	12,634,224,485口	12,577,130,613口	12,494,192,981口
1 万口当たり基準価額	5,159円	5,314円	5,287円	5,110円	5,288円	5,149円

(注) 当作成期中における追加設定元本額は71,603,089円、同解約元本額は609,852,206円です。

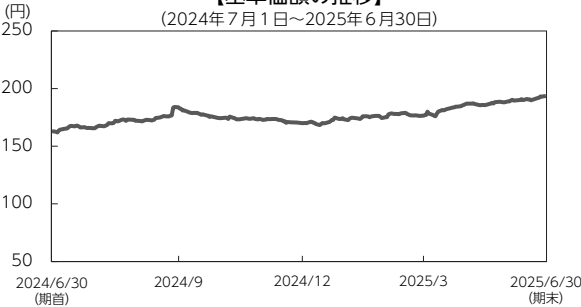
組入上位ファンドの概要

SIM ブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド クラス L

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

【基準価額の推移】

(2024年7月1日～2025年6月30日)



【1万口当たりの費用明細】

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載していません。

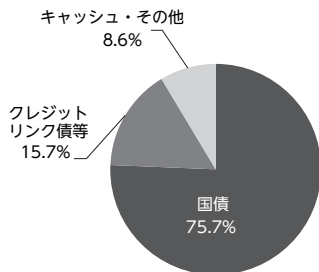
【組入上位10銘柄】

(2025年6月30日現在)

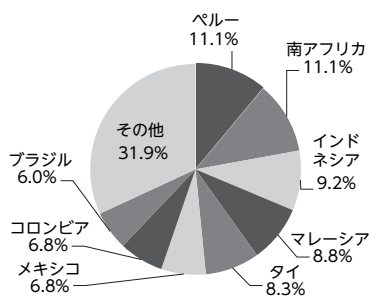
	銘柄名	利率	償還年月日	国名	建通貨	額面金額	評価額	比率
		%					米ドル	%
1	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA /ZAR/ REGD SER 2037	8.50	2037/01/31	南アフリカ	南アフリカ・ランド	58,848,170	2,883,009.81	6.87
2	NOTA DO TESOURO NACIONAL /BRL/ REGD SER NTN	10.00	2031/01/01	ブラジル	ブラジル・レアル	12,892,000	2,073,630.55	4.94
3	POLAND GOVERNMENT BOND /PLN/ REGD SER 1029	2.75	2029/10/25	ポーランド	ポーランド・ズロチ	6,734,000	1,719,170.87	4.10
4	THAILAND GOVERNMENT BOND /THB/ REGD	3.65	2031/06/20	タイ	タイ・バーツ	43,755,000	1,513,481.87	3.61
5	CHINA GOVERNMENT BOND /CNY/ REGD SER INBK	2.62	2029/09/25	中国	中国人民元	10,280,000	1,500,108.16	3.58
6	TITULOS DE TESORERIA /COP/ REGD SER B	13.25	2033/02/09	コロンビア	コロンビア・ペソ	5,213,500,000	1,337,674.34	3.19
7	INDONESIA GOVERNMENT /IDR/ REGD SER FR72	8.25	2036/05/15	インドネシア	インドネシア・ルピア	17,641,000,000	1,211,314.19	2.89
8	MALAYSIA GOVERNMENT /MYR/ REGD SER 0115	3.96	2025/09/15	マレーシア	マレーシア・リンギット	4,886,000	1,162,811.14	2.77
9	BONOS DE TESORERIA /PEN/ REGD	0.00	2033/08/12	ペルー	ペルー・ソル	3,560,000	1,094,786.53	2.61
10	REPUBLIC OF PERU /PEN/ REGD REG S	7.60	2039/08/12	ペルー	ペルー・ソル	3,608,000	1,085,506.43	2.59
組入銘柄数						64銘柄		

(注1) 比率は、当該投資信託証券の純資産総額に対する割合です。
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注3) 国名につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

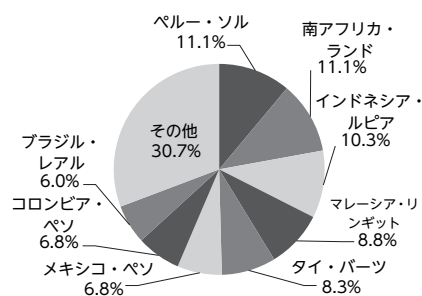
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は、資産別配分については当該投資信託証券の純資産総額に対する割合（派生商品の損益を含む）、国別配分および通貨別配分についてはポートフォリオ（時価評価額合計）に対する割合です。

(注2) 資産別配分の「その他」には、スワップ取引や為替先渡取引の損益が含まれております。

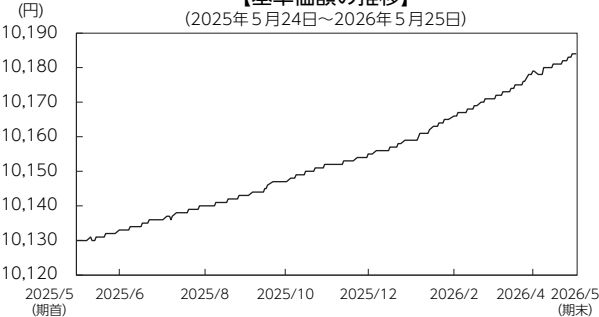
(注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注4) 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

SIM ショートターム・マザー・ファンド

【基準価額の推移】

(2025年5月24日～2026年5月25日)



【1万円当たりの費用明細】

該当事項はございません。

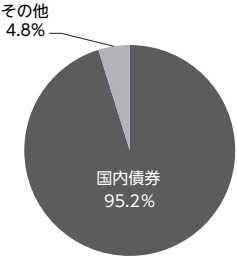
【組入上位10銘柄】

(2026年5月25日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	第1376回国庫短期証券	国債証券	日本円	日本	% 95.2
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		1 銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注3) 資産別配分、国別配分、通貨別配分は小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%に満たない場合があります。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照下さい。

＜当ファンドの参考指数について＞

参考指数（JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド（円換算ベース））は、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド（米ドル建て：為替ヘッジなし）をもとに委託者が独自に算出したもので、当初設定時を10,000として指数化しております。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

＜各指数の概要＞

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

＜重要事項＞

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。